

文のしくみを見てみよう！

主語・述語・修飾語

● 主語 (しゅご)

● 述語 (じゅつご)

● 修飾語 (しゅうしょくご)



小さな 鳥が 元気に 鳴いています。

「小さな」は
「鳥が」をくわしくするよ。

「元気に」は
「鳴いています」をくわしくするよ。

① 主語 (しゅご)

「だれが」「なにが」にあたる、
言葉のまとまり。

犬が 走る。



なにが走る？ → 犬が

② 述語 (じゅつご)

主語にかいて、「どうする」「どんなだ」
「何だ」を表す言葉のまとまり。



犬が 走る

どうする



空が 青い

どんなだ



父は 先生です

何だ

③ 修飾語 (しゅうしょくご)

ほかの言葉を、
くわしくする言葉。

白い...

→ 犬が



速く...

→ 走る



公園で...

→ 遊ぶ



★ まとめ

主語と述語が、
文の中心。

修飾語を加えると、
ようすがくわしく伝わるよ。

鳥が 鳴く。



小さな 鳥が、庭で 元気に 鳴く。



ポイント：述語は、文の終わりにあることが多いよ。

